

ToWN 企画ウォーキング (10月16日 土曜日 遠出) 見どころ案内

「羽村から拝島へ (玉川上水、多摩川河畔)」 7.6 Km

参加費: 一般 500円 (年間定額参加の方は除く) 9時30分 羽村駅西口 集合

※年間定額参加についてはスタッフにお尋ねください

当日の実施有無等の状況については、右下の ToWN QR コード (掲示板) で、朝7時以降に確認できます!!

《羽村取水堰》

羽村取水堰は、多摩川の河口から上流約54kmに位置し、川をせき止める投渡堰、固定堰、魚類が行き来する魚道及びせき止めた水を取り入れる第1水門から構成されています。

羽村取水堰は玉川上水と同時に建設され、承応2(1653)年に完成しました。玉川上水は、江戸の人口が増えたため幕府が多摩川の水を江戸に引く計画を立て、当初は国立の青柳付近、次いで福生の熊川付近に取水口を設けましたが失敗し、現在の羽村地点となりました。

堰は、明治33(1900)年、大正13(1924)年の増改築を経て現在に至ります。堰の構造上、通常時は全量取水して小吐水門から毎秒2立方メートルを放流していますが、台風などの洪水時は、投渡堰を取り払うことで河川水位の上昇を抑え、堰の安全性を確保しています。

取水した原水は、村山・山口貯水池や小作浄水場へ導水しているほか、玉川上水路を経て、東村山浄水場にも導水しています。

説明文はいずれも Web サイトより引用 (コピー)



《玉川上水の流れ》



《加美上水公園》

玉川上水新掘開削時の土を脇に残した「加美上水公園」は、玉川上水旧掘跡の遺構があり、自然の残る公園です。春は、桜がきれいで見ごたえがあります。



《旧ヤマジウ田村家住宅》

この住宅の旧所有者である田村家は、明治35年(1902)に田村酒造を営む田村家の分家として起こり、三代にわたりこの地で生活をしてきました。屋号は半(ヤマジウ)です。

田村家では、明治44年(1911)に旧福生郵便局を住宅の向かいに開設しました。その後、旧福生郵便局内で大正7年(1918)に電報電話業務を、大正10年(1921)には電話交換業務を始めるなど、旧福生村の発展に尽くしました。

平成26年12月19日、主屋ならびに二棟の土蔵の文化財的価値が認められ、国の有形登録文化財(建造物)に登録されています。



《石濱渡津跡》



《水喰土(みずくらいど)公園》

不思議な名前は、江戸時代、玉川上水の堀を掘っても掘っても厚い砂利層が水を吸込んだことに由来しています。

「ふっさ十景」にも選定され、野趣豊かな雑木林をそのまま公園に利用した事で起伏に富んだ景色を楽しめます。また、玉川上水の開削跡がのこり、「玉川上水散策コース」の出発点となっています。



次回予告: 11月16日(火) 「善福寺川中流を歩いて紅葉の太田黒公園へ」 8.7Km

9時30分 方南町駅(出口2) 集合 お待ちしています!!

問い合わせ先: ToWN 事務局 尾崎 裕 090-2423-1461



ToWN QR